

演習グループ名 A班			モデル自治体 秋田県横手市		
番号	都道府県名	氏名	番号	都道府県名	氏名
008	岩手県	峯井 直子	012	岩手県	田澤 祐樹
013	岩手県	鈴木 絵美	045	秋田県	高木 裕也

I 自治体の概要

【モデル自治体】秋田県横手市 テーマ「青少年教育」

(1) 地勢・地域条件等

- ・面積：692.8km
- ・人口：80612人（男子38328人女子42284人）
- ・構成比：年少人口9%生産年齢人口50.22%老年人口40.78%

(2) 住民の生活状況の特徴

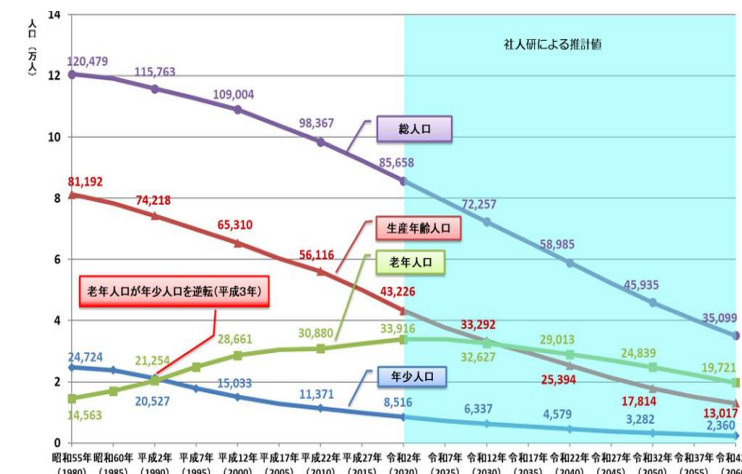
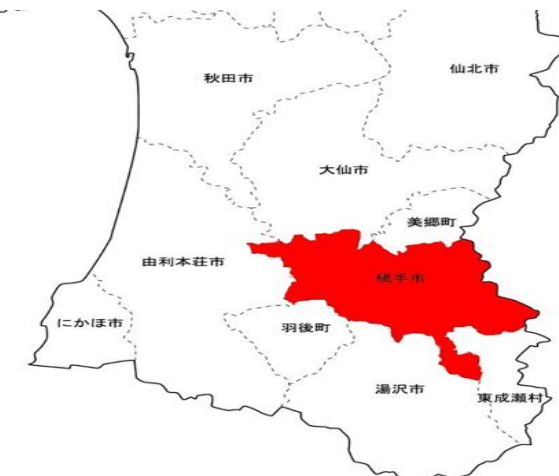
- ・産業構成比：第一次14.8%第二次25.3%第三次59.9%
- ・就労人口：44009人
- ・持ち家比率：83.4%

(3) 教育・文化的環境の特徴

- ・小学校14校 中学校7校 高校6校
- ・社会教育施設地区交流センター・分館34館、図書館（室）6館（2室）、資料館5館
- ・市民の学習ニーズとして「健康スポーツ」「趣味」「家庭教育に役立つ技能」が50%である。

(4) テーマに関する環境の特徴や課題等

- ・ジュニアリーダー教育の育成についてコロナ渦により各種イベントの中止による影響で参加者が減少している。地域イベントへの積極的参加を促しリーダーとしての資質向上を目指す。



資料：平成27(2015)年までは国勢調査、令和2(2020)年以降は国立社会保障・人口問題研究所 日本の地域別将来推計人口(H30.3.30公表)



演習グループ名 A班			モデル自治体 秋田県横手市		
番号	都道府県名	氏名	番号	都道府県名	氏名
008	岩手県	峯井 直子	012	岩手県	田澤 祐樹
013	岩手県	鈴木 絵美	045	秋田県	高木 裕也

2 現行施策の状況 (テーマ：青少年育成)

【施策】
第4次横手市生涯学習推進計画
よこて学びプラン

【戦略的な目標】 多様な生涯学習の機会が提供されることにより、市民が「いつでも」「どこでも」「だれでも」「なんでも」学べ、自らの考えで行動し、人生をより深く生きることができるまちを目指す。さらに、学びによる「まちづくり・人づくり」や学びの成果を活かす「循環型の学び社会づくり」を引き続き推進していく。

現行の施策の柱 (区分)	現 行 の 事 業	
	生涯学習・社会教育主管課	他部局等の関連事業
【柱1】社会教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ジュニア・リーダー育成事業 ・放課後子ども教室 ・社会教育関係団体関連事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・横手市子ども会育成連合会 (体験活動事業) ・友好都市厚木市との小学生交流事業 ・公民館 (地区交流センター) 連携事業 (地域づくり支援課)
【柱2】生涯学習の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て講座 ・パパ'sサークル横手ピーターパン連携事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育支援チーム「どんぐりすのもり」の活動 ・子育て支援事業 (子育て支援課) ・スマホ教室 (情報政策課)
【柱3】芸術文化の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・市民ステージ祭関連事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化協会関連事業 (各地域課)
【柱4】図書館の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・横手市生涯学習館Ao-na事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館設備管理 (図書館課) ・読書活動の支援 (図書館課)

演習グループ名 A班			モデル自治体 秋田県横手市		
番号	都道府県名	氏名	番号	都道府県名	氏名
008	岩手県	峯井 直子	012	岩手県	田澤 祐樹
013	岩手県	鈴木 絵美	045	秋田県	高木 裕也

3 課題の分析から新たな計画体系へ

整理した課題

- ① 青少年活動の機会の減少
- ② 地域との関わりの希薄化
- ③ ジュニアリーダーの持続化
- ④ 子どもの健全育成に地域も関わる

根拠となる調査・答申等

- ① 第2期横手市子ども・子育て支援事業計画
- ② 横手市ポケット統計
- ③ まちづくりアンケート調査

施策の方向性

- ・ ジュニアリーダーと指導者のパイオニアの育成
- ・ 青少年活動の普及、啓発
- ・ 相互交流の促進
- ・ 地域と青少年の参画

新たな計画体系

【施策】 ジュニアリーダーの健全育成の推進

優先順

- 【柱1】 ジュニアリーダーと指導者の育成**
 【達成目標(仮)】
 横手市子ども会育成連合会とジュニアリーダーの資質向上と地域と団体の活性化を図り、地域を支える人材育成を目指す。
- 【柱2】 青少年活動の普及、啓発**
- 【柱3】 相互交流の促進**
- 【柱4】 地域と青少年の参画**

【新規・拡充・継続】 事業名 (年次: 1~5)

- 【新規】 横手やきそば大作戦事業 (1)**
 ~麺(子ども)と目玉焼き(大人)と
 福神漬(スキル) ソース(行政)を添えて~
 ※市子連とジュニアリーダーの宿泊研修事業
- 【新規】 青少年育成プログラム事業 (1~3)**
 ~ゆきんこプラン~
 ※横手雪祭り(かまくら)への参画

4 事業の年次計画と評価フロー図

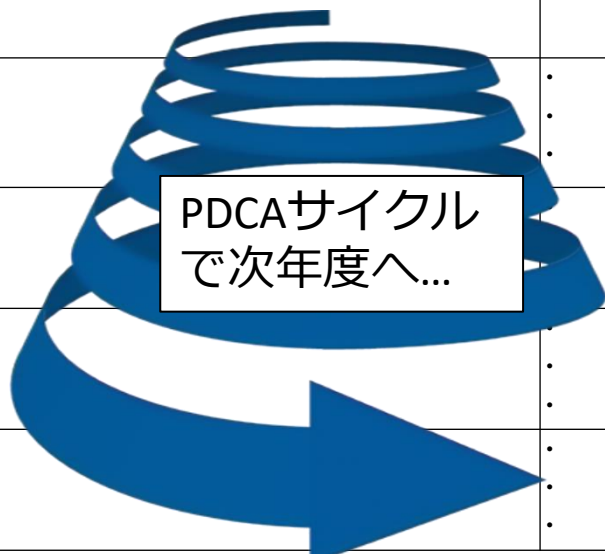
施 策	ジュニアリーダーの健全育成の推進
-----	------------------

施 策 の 柱	ジュニアリーダーと指導者の育成
---------	-----------------

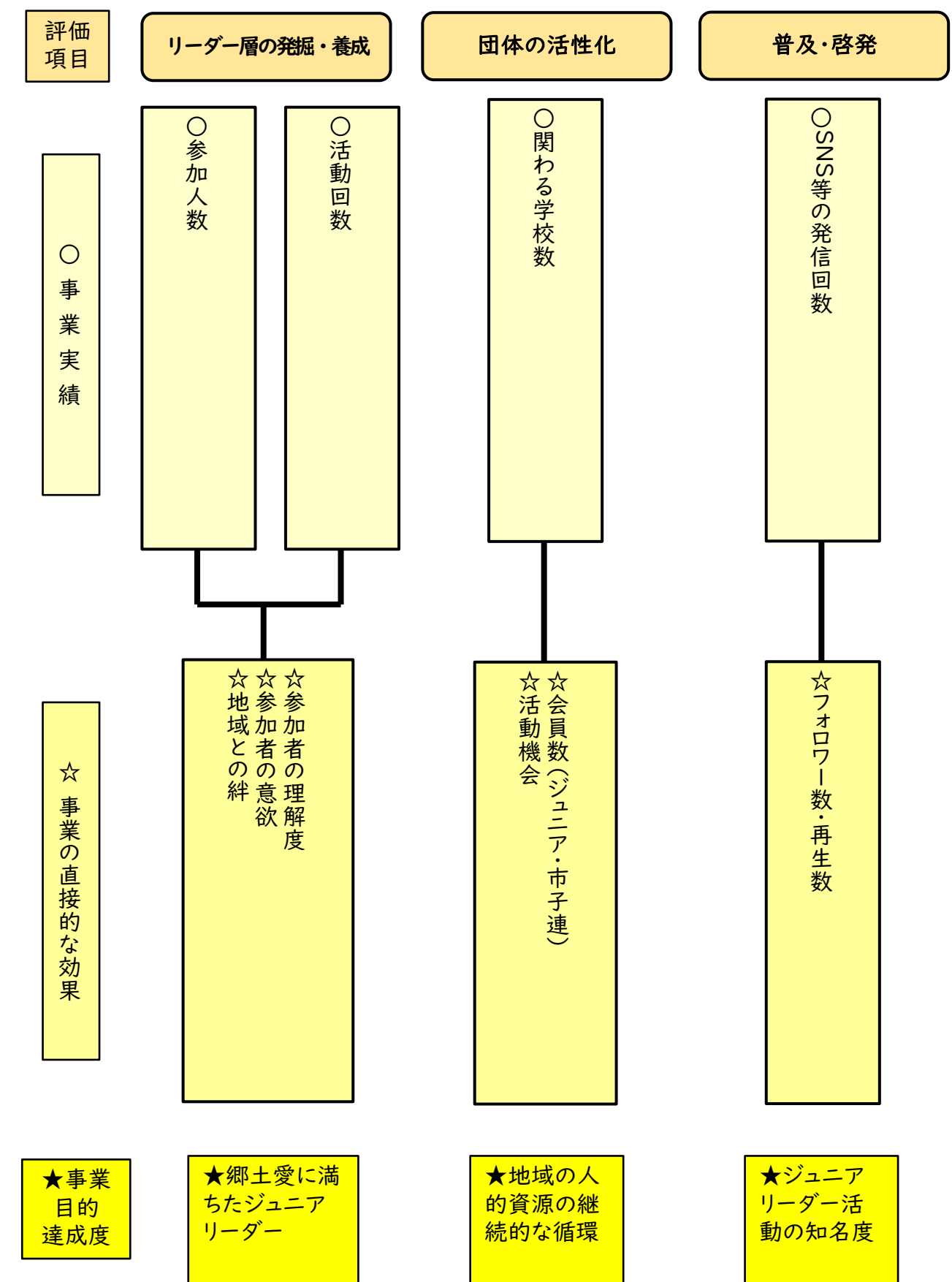
事業名	【新規】横手やきそば大作戦事業(Ⅰ) ～麺(子ども)と目玉焼き(大人)と福神漬(スキル)ソース(行政)を添えて～ ※市子連とジュニアリーダーの宿泊研修事業
事業目標	第一次事業において、段階的なプログラムを通して、市子連とJrリーダーの資質の向上を目指す。また、地域課題の解決と団体の活性化を図り、活動の普及啓発も併せて行う。さらには、第一次事業の成果を第二次事業に活かす。

年次計画	●	●	●	●	●
------	---	---	---	---	---

年次	取組の概要 (内容, 方法, 実施期間, 対象, 連携先等)	達成状況 (目標値)	予算 (千円)
1	・場所: 保呂羽山少年自然の家(横手市大森町) ・期間: 全4回(①5月②9月③12月④2月) ・対象: 市子連(30~50代10名、60~70代15名)、Jr.リーダー(中学校10名、高校生15名) ・連携先: 保呂羽山少年自然の家、市子連、中学校(7校)、高校(6校)、行政 【内容】 ☆リーダー層の発掘・養成 ①5月: 顔合わせ、目的の共有、研修(学習と成果)、次回への準備をする ②9月: 実践(やきそば屋台) ③12月: 振り返り、次回への準備をする ④2月: 実践(地域イベント) ☆普及・啓発 全ての活動の様子をSNSで発信 活動のまとめ動画をYoutubeで配信	・開催数: 全4回 ・参加人数: 50人 ・関係団体数: 3団体 ・関係学校数: 7校 ・参加者理解度アンケート: 80% ・参加者意欲度アンケート: 80% ・地域貢献へ意識アンケート: 80% ・フォロワー数: 200人 ・再生数: 500回	消耗品費: 30 食糧費: 100
2	・	・	
3	・	・	
4	・	・	
5	・	・	



演習グループ名 A班			モデル自治体 秋田県横手市		
番号	都道府県名	氏名	番号	都道府県名	氏名
008	岩手県	峯井 直子	012	岩手県	田澤 祐樹
013	岩手県	鈴木 絵美	045	秋田県	高木 裕也



演習グループ名 A班			モデル自治体 秋田県横手市		
番号	都道府県名	氏名	番号	都道府県名	氏名
008	岩手県	峯井 直子	012	岩手県	田澤 祐樹
013	岩手県	鈴木 絵美	045	秋田県	高木 裕也

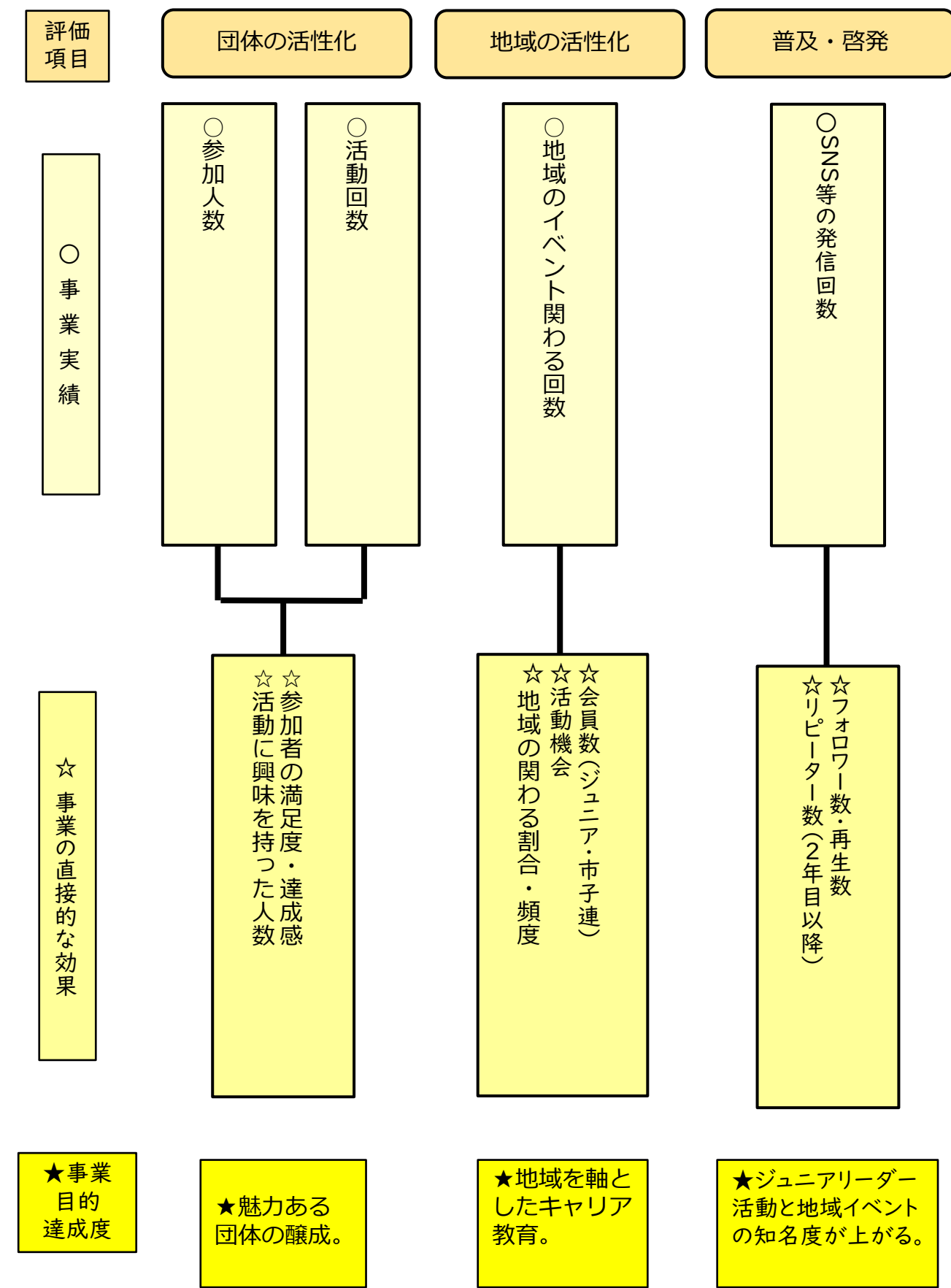
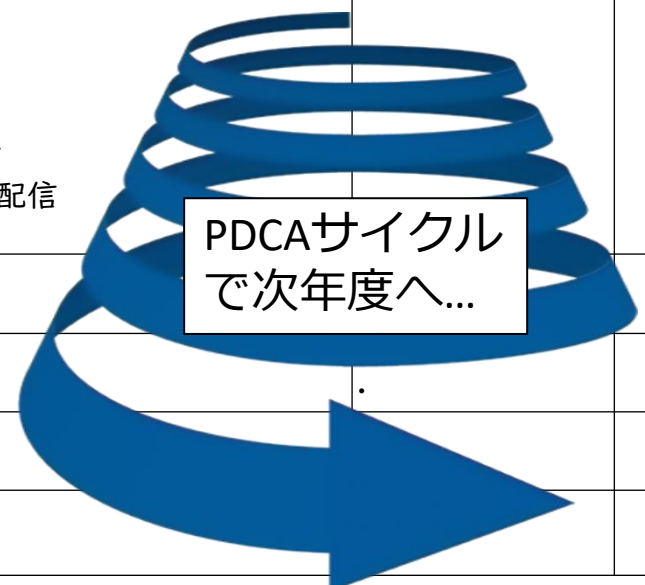
5 事業の年次計画と評価フロー図

施策	ジュニアリーダーの健全育成の推進
----	------------------

施策の柱	ジュニアリーダーと指導者の育成
------	-----------------

事業名	【新規】青少年育成プログラム事業(1~3) ~ゆきんこプラン~ ※横手雪祭り(かまくら)への参画				
事業目標	第一次事業の成果を第二次事業に活かし、地域のイベントに参画することで、地域や他団体との連携を深める。また、地域の活性化を図り、活動の普及啓発も併せて行う。				
年次計画	●	●	●	●	●

年次	取組の概要 (内容, 方法, 実施期間, 対象, 連携先等)	達成状況 (目標値)	予算 (千円)
1	・場所: 横手市役所付近 ・期間: 2月15日~16日 (やきそば大作戦事業の③12月④2月が関連する) ・対象: 市子連(30~50代10名、60~70代15名)、Jr.リーダー(中学校10名、高校生15名) ・連携先: 横手市観光協会、行政、市子連、中学校(7校)、高校(6校) 【内容】 ☆横手雪祭り(かまくら)への参画 関係各所との調整(年2~3回) ・雪祭り実行委員会への参加 ・一次事業の課題整理(12月) 準備 ・スケジュール ・役割決め 実践(2月: 雪祭り) ☆普及・啓発 全ての活動の様子をSNSで発信 活動のまとめ動画をYoutubeで配信	・開催数: 全4回 ・参加人数: 30人 ・関係団体数: 3団体 ・関係学校数: 7校 ・参加者満足度アンケート: 80% ・関係者満足度アンケート: 80% ・地域貢献へ意識アンケート: 80% ・フォロワー数: 200人 ・再生数: 500回	消耗品費: 30
2	・	・	・
3	・	・	・
4	・	・	・
5	・	・	・



演習グループ名 A班			モデル自治体 秋田県横手市		
番号	都道府県名	氏名	番号	都道府県名	氏名
008	岩手県	峯井 直子	012	岩手県	田澤 祐樹
013	岩手県	鈴木 絵美	045	秋田県	高木 裕也

6 社会教育計画 (計画体系・評価体系)

【施策】ジュニアリーダーの健全育成の推進

【施策】ジュニアリーダーの健全育成の推進

【戦略的な目標】多様な生涯学習の機会が提供されることにより、市民が「いつでも」「どこでも」「だれでも」「なんでも」学べ、自らの考えで行動し、人生をより深く生きることができると目指す。さらに、学びによる「まちづくり・人づくり」や学びの成果を活かす「循環型の学び社会づくり」を引き続き推進していく。

【柱1】ジュニアリーダーと指導者の育成

【柱1】ジュニアリーダーと指導者の育成

【達成目標】（仮）横手市子ども会育成連合会とジュニアリーダーの資質向上と地域と団体の活性化を図り、地域を支える人材育成を目指す。

【事業】【新規】横手やきそば大作戦事業(1)～麺(子ども)と目玉焼き(大人)と福神漬(スキル)ソース(行政)を添えて～
※市子連とジュニアリーダーの宿泊研修事業

【事業目標】第一次事業において、段階的なプログラムを通して、市子連とジュニアリーダーの資質の向上を目指す。また、地域課題の解決と団体の活性化を図り、活動の普及啓発も併せて行う。さらには、第一次事業の成果を第二次事業に活かす。

【事業】【新規】青少年育成プログラム事業(1～3)～ゆきんこプラン～
※横手雪祭り(かまくら)への参画

【事業目標】第一次事業の成果を第二次事業に活かし、地域のイベントに参画することで、地域や他団体との連携を深める。また、地域の活性化を図り、活動の普及啓発も併せて行う。

- <アウトプット>**
- 参加人数
 - 活動回数
 - 関わる学校数
 - SNS等の発信回数

- <アウトカム>**
- ☆参加者の理解度
 - ☆参加者の意欲
 - ☆地域との絆
 - ☆会員数(ジュニア・市子連)
 - ☆活動機会
 - ☆フォロワー数・再生数
 - ★郷土愛に満ちたジュニアリーダー
 - ★地域の人的資源の継続的な循環
 - ★ジュニアリーダー活動の知名度

- <アウトプット>**
- 参加人数
 - 活動回数
 - 地域のイベント関わる回数
 - SNS等の発信回数

- <アウトカム>**
- ☆参加者の満足度・達成感
 - ☆活動に興味を持った人数
 - ☆会員数
 - ☆活動機会
 - ☆地域の関わる割合・頻度
 - ☆フォロワー数・再生数
 - ☆リピーター数(2年目以降)
 - ★魅力ある団体の醸成
 - ★地域を軸としたキャリア教育
 - ★ジュニアリーダー活動と地域イベントの知名度が上がる

【評価の視点】

- ①資質向上ができたか
- ②活性化ができたか
- ③地域を支える人材育成ができたか

【評価指標】

- ①事業終了時のアンケートで理解度・達成感が「ある・とてもある」と回答した数
- ②活動回数と参加者人数
- ③市民アンケートによるジュニアリーダーについて「知っている」「興味がある」「地域に貢献している」と回答した数

【評価の視点】

- ①資質向上ができたか
- ②活性化ができたか
- ③地域を支える人材育成ができたか

【評価指標】

- ①事業終了時のアンケートで理解度・達成感が「ある・とてもある」と回答した数
- ②活動回数と参加者人数
- ③市民アンケートによるジュニアリーダーについて「知っている」「興味がある」「地域に貢献している」と回答した数

【関連部局における取組】

- ・友好都市厚木市との小学生交流事業
- ・公民館(地区交流センター)連携事業(地域づくり支援課)

【柱2】青少年活動の普及、啓発

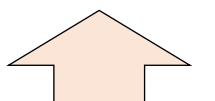
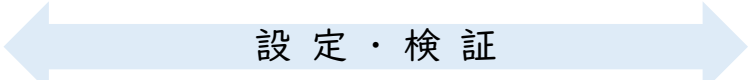
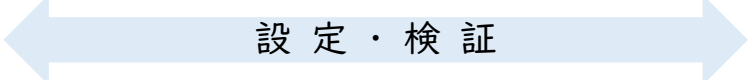
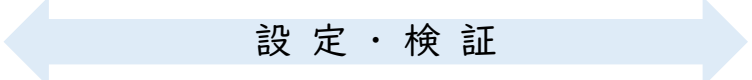
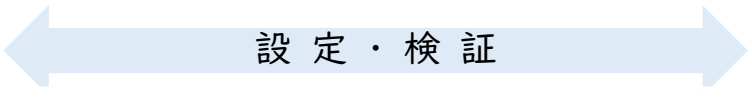
【柱2】青少年活動の普及、啓発

【柱3】相互交流の促進

【柱3】相互交流の促進

【柱4】地域と青少年の参画

【柱4】地域と青少年の参画



秋田県横手市テーマ「ジュニアリーダーの健全育成」

【課題】
・中高生が地域との関わりの減少
・ジュニアリーダーの資質の向上

市子連とJrリーダーがタッグを組み
史上最幸の祭りを作ろう

12月
振り返り研修

市子連とJrリーダー最幸タッグを組み
雪祭りで お・も・て・な・し

焼きそば大作戦事業(9月)
～麺(子)目玉焼き(大人)と
福神漬(スキル)とソース(行政)を
添えて～

続 的 な 循 環

青少年育成プログラム事業(2月)
～ゆきんこプラン～

市子連養成・
ジュニアリーダー養成



【課題解決】保呂羽
山青少年の家でスキル
を習得します。

地域との絆が深まる



【相互作用】
ニーズが
マッチします。

【体験活動の機会】
地域貢献の意義を体
現します。



郷土愛に満ちたリーダー養成

地 域 を 軸 と し た 教 育



柱1
ジュニア
リーダーと
指導者の育成



【リーダー養成】
生きがいにつな
がるプログラム立案
をします。

自己実現

地域を軸にした
キャリア教育

自己有用感形成

【地域人材育成】
出店者・外国人対応、
小学生のかまくら作
り等のサポートをし
ます。

